乍恐御窺

新居尾荒神口ゟ東側岩橋長蔵ニ相振舞吉田宮
徳右衛門と申者ハ此り勤方ニ而御殿ニ而家来相勤
又ニ出候抱ニ而罷出候者ニ而御預ヶ中相働候
御役所様御尋ニ付此度乍恐石井金右衛門殿ニ諸人と
中東度相調候処不埒之儀相聞候ニ付
二差置極楽探索方とし両人ニ抱ニ相成候
善右衛門義者壱人ハ両隣ニ而兼田院御夜番相勤
上右衛門壱人ハ元年頃ゟ御役場相勤候
二十新地大丈字町住居致居候石村四郎兵衛
両人共ニ同様御用向相勤候
類ヲ探索仕候ニ付此段奉伺候
差上候御窺書ニ而御座候
右之通御窺奉申上候以上
六月 石九